

インフォシスとWPP、デジタル・マーケティングをシンプルにする世界初の総合プラットフォーム“Infosys randEdge™”を発表

Global 200企業数社がInfosys BrandEdge™を使いデジタルエンゲージメントを加速化

バンガロール、ロンドン、ニューヨーク、東京(2012年4月23日):コンサルティングとテクノロジーの世界的リーダーであるインフォシスと世界最大の広告代理店会社WPPグループは、WPP子会社のFabricと共同で開発された**Infosys BrandEdge™**を本日発表しました。この世界初の総合クラウド・ベース・プラットフォームは、テクノロジーとマーケティングの専門知識を一つのプラットフォームに融合することで、よりシンプルなデジタル・マーケティングを実現します。デジタル所有物の作成とデータ管理、複数のパートナー会社との取引管理、売上を促進するキャンペーンの実行など、デジタル・マーケティングに関連するあらゆる業務に対応します。

同プラットフォームは、ロンドンに新しく開設されたインフォシス・エクスペリエンス・センターにて**インフォシス最高経営責任者兼代表取締役S.D.シブラル**ならびに**WPPグループ最高経営責任者マーティン・ソレル**卿から発表されました。

現在実施されているキャンペーンの内容から判断すると、デジタル・マーケティングは非常に複雑かつ細分化しています。複数の地域や言語、さらに複数の代理店を利用しながら、様々なチャネルの消費者を対象とする状況において、迅速に意思決定を行い、シームレスにキャンペーンを実行するには、高品質な消費者分析が不可欠です。大規模な組織がこうした複雑なマーケティングをシンプルに実行するための柔軟なソリューションを提供するのが、**Infosys BrandEdge™**なのです。

このプラットフォームソリューションが備える**BLUEフレームワーク**により、マーケッターは効率的にデジタル資産を**創り(Build)**、効果的に消費者の意見を**聞き(Listen)**してターゲットのセグメントに関する**理解(Understand)**を高め、広範なデジタル・チャネルの消費者とも容易に**つながり(Engage)**を持てるようになります。

- **Build(創る):**
デジタル所有物の作成、管理、再利用を促進。外部と内部のステークホルダーが同じプラットフォーム上でシームレスにコラボレーションできるようにして、コストを最大30%削減し、市場化時間を最大40%短縮します。
- **Listen(聞く):** デジタル所有物をCRMデータや他のサードパーティ・データソースと統合、所有・獲得することで、企業は測定方法や機密およびセキュリティ基準を設定してデータを管理することが可能になります。消費者データを組織内でリアルタイムに一元管理し、メディア・バイイングあるいは広告宣伝向けテクノロジーなど、他のツールセットやサービスと共有することができます。
- **Understand(理解する):**
あらゆるデジタル・チャネルの消費者行動を分析する先進的な分析／インテリジェンス機能を提供します。緻密でインタラクティブかつ顧客中心のレポートを提供し、マーケッターは既存の消費者により正確にターゲットを絞れるようになります。また、リアルタイムのカスタム分析を活用することで新たなセグメントをより速く特定できるようになります。
- **Engage(繋がる):**
すべてのデジタル・チャネルを通じてコミュニケーションの一貫性を守ります。様々な統合マーケティング・ツールに対応する共通のゲートウェイを提供して、eメール、ソーシャル・メディア、アドゲートウェイなどあらゆる種類のデジタル・チャネルを通じて消費者とつながりを持てるようにします。

クラウド・ベースの同プラットフォームは、サブスクリプション型課金モデルで利用できるため、マーケティング担当者は最新のテクノロジーとマーケティングを利用しながら、広告予算を年間を通じた支出ではなく、その都度運用費用にあてることができます。

インフォシス最高経営責任者兼代表取締役S.D.シブラル:「未来の企業を目指す際、多くの情報を持ち洞察力に優れたデジタル世代に対してパーソナライズされた製品やサービスを提供することが不可欠になります。インフォシスBrandEdge™は、デジタル・マーケティングの真のポテンシャルを引き出し消費者の関心を高めて成長を加速化するために必要な敏捷性を提供する独特なプラットフォームです。当社は、これまであらゆる業界のお客様600社にサービスを提供した実績に基づく詳細な業界知識と最新テクノロジーの知識を活用して、インフォシスBrandEdge™のようなサービスを開発し、イノベーション主導型の成長に対する支援をお客様に提供いたします。」

WPPグループの最高経営責任者サー・マーティン・ソレルは次のように述べています。「現在マーケティングが複雑化する状況において、お客様はよりシンプルなソリューションを求めていると感じます。効果と効率を改善するためのテクノロジーやデータ分析はすでに確立されていますが、従来のテクノロジー手法とマーケティング手法では全く接点がありませんでした。WPP子会社のFabricと共同で開発されたインフォシスBrandEdge™は、このマーケティングとテクノロジーの間に存在する溝の橋渡し役となるため、マーケターは消費者に特別な個人的体験を提供できるようになるでしょう。」

追加リンク

[Infosys BrandEdge Website](#)

[Infosys Edge Website](#)

[IDC Whitepaper](#)

[Infosys GSK Announcement](#)

[Fabric Website](#)

[WPP .com](#)

ファブリック・ワールドワイドについて

ファブリック・ワールドワイドは専門技術企業であり、WPPクライアントサイド・プラットフォーム・プロバイダーでもあります。ファブリック・ワールドワイドの技術はファブリック・クライアントサイドDMPとマーケティング・オペレーティング・システムを基盤としており、マーケティングデータとマーケティング策はこのデータを利用して、すべてのチャンネルと顧客組織の異なる部署に関連するプログラムを絶え間なく配信することができます。同社が目指すのは、顧客がデジタル チャンネルから消費者のシグナルを迅速かつ合理的に利用できるようにすることです。

インフォシスについて

当社の15万人の社員は測定可能なビジネス・バリューを提供することで世界で活躍する多くの企業から信頼を得ています。当社はビジネス・コンサルティングからテクノロジー、エンジニアリング、アウトソーシングまで幅広いサービスを提供して世界30カ国以上のお客様に未来企業を目指すお手伝いをしています。

当社（NASDAQ：INFY）に関する詳細は当社Web サイトをご覧ください。www.infosys.com/jp

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、当社の将来的な成長を予測するものであり、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、収益の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のあるIT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクについては、2010 年会計年度（2011 年3 月31 日付）年次報告書（Form 20-F）や2011 年第1 四半期（2011 年4 月－6 月期）、2011 年第2 四半期（2011 年7 月－9 月期、2011 年第3四半期（2011年10月－12月期 の各四半期報告書Form6-K）を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、当社により随時発表された将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ

日本支店 マーケティングマネージャー

安藤 穰 03-5545-3251 / jo_ando@infosys.com

Infosys Press Office: Asia Pacific Joya Ahluwalia	Infosys Press Office: EMEA Shamima Begum	Infosys Press Office: America Danielle D'Angelo	Fabric Press Office: Chris Perry
---	--	---	---